

学 校 通 信



第15号

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/shira-j/>

鈴鹿市立白鳥中学校

*白鳥中学校ホームページで、学校生活の様子やこの通信のカラー版を見ることができます。

交通安全教室

11月24(金)4限目、三重県損害保険代理業協会事務局の稲垣さんを講師にお迎えして、「自転車で事故を起こしたら、加害者にも成り得る」というテーマで講演をしていただきました。本校では、本年度、登下校中の大きな交通事故は起こっていませんが、本校生徒の自転車のマナーについて、地域の方からたくさんの声をいただいております。月一回の「交安指導・あいさつ運動」に参加した保護者さんの所感からも、「並列して自転車に乗っている」「坂道をスピードを出して降りていく」等の声もいただいております。

自転車の乗り方が悪いと、被害者にも、加害者にもなります。今回での学びを活かして、生徒、地域の方、皆さんの安全が維持されることを強く願っています。



【加害者になった時の4つの責任】

- 民事責任→損害賠償
- 刑事責任→重過失傷害、道交法違反
- 行政上の責任→反則金・免許処分
- 道義的責任→謝罪・お見舞い



これら4つの責任については、全て中学生だけで責任を負うことはできません。保護者の責任となります。

【交安担当より】

今回の講演は交通事故の衝撃的な場面から始まりました。交通ルールを守らずに事故を起こしてしまうと、加害者に成り得る場合があり、損害賠償請求が発生することもあります。高額になると自分では支払えないので家族に迷惑がかかることにもなります。ルールやマナーを守って安全な乗り方をして下さい。

【3年交安委員の感想より】

今回の講演で改めて自転車に乗ることの危険性を再確認することができました。被害者や加害者どちらにもなる可能性が十分にあり、もし加害者になってしまった場合、賠償金を支払わなければならないかもしれないし、それを支払うのは親なので家族にも迷惑がかかってしまうことを知り、改めて自転車に乗るときは常に注意をはらって乗らなければならないのだと感じました。

【校長より】

自転車は手軽に使えるとても便利な交通手段です。みなさんは、毎日の通学だけでなく、いろいろな場面で自転車を活用しています。その反面、自転車による交通事故が多いのも事実です。幸い白鳥中学校では今のところ、大きな事故は起こっていませんが、ちょっとした不注意で事故に巻き込まれたり、場合によっては加害者になったりする可能性があります。交通社会の一員として、日ごろの自分の乗り方を見直していきましょう。

スマホ・ケータイ安全教室

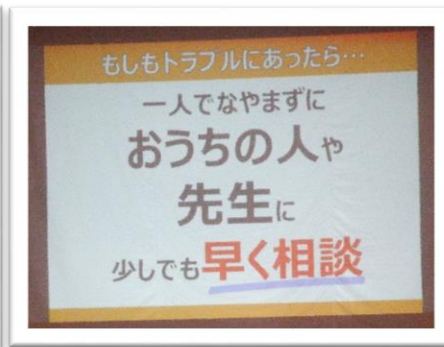
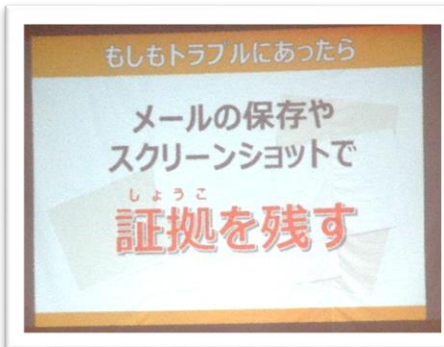
12月 11 日(月)6限目、KDDI の田中さん、鈴鹿警察署生活安全課の杉谷さん(元校長先生)を講師にお迎えして、「スマホ・ケータイ安全教室」を実施しました。「SNS への投稿によるトラブル」「スマホ・ゲーム依存」「SNS で見知らぬ人に相談したことでおこるトラブル」の3つのテーマで、それぞれの危険性と注意点を講義していただきました。本校でも 1 学期から、数回、「スマートフォン・携帯電話の使い方」「ネットトラブル」について学ぶ機会を設定してきましたが、SNS 等による生徒指導上の問題がしばしば起こります。ご家庭でも、「携帯電話の使い方のルール」「SNS のトラブル」等について、子どもと話し合う機会をとり、被害者にならない、加害者にもならないよう、声かけをお願いいたします。

【トラブルの実例】

- 侮辱罪、脅迫罪
SNS やブログへの誹謗中傷投稿で書類送検
- 肖像権・プライバシー権の侵害
他人の写真の無断投稿で賠償金
- 名誉棄損
誹謗中傷の投稿ツイートに「いいね」で賠償金
- 偽計業務妨害
店での迷惑行為の動画投稿で書類送検

【生徒指導担当より】

携帯電話やスマートフォン等は便利ですが、使い方を間違えると『心に一生の傷』を負うこともあります。そのようなことにならないよう各家庭でのルールづくりやフィルタリングの設定などよろしくお願いいたします。生徒を通じて配布した KDDI のリーフレットをぜひ、ご参照下さい。



【生徒の感想】

最近、私もネットに依存しかけているので、友だちといるときには話すことを大切にしたい。

インターネットで繋がった人を、同じ年、住んでいる場所が近いなどの不確かな情報だけで信用しないようにしたい。

SNS は相手の表情が見えず、知らない間に傷つけてしまうかもしれない。しっかり考えてから投稿や送信をしたい。

【校長より】

スマホの普及により、様々な情報を簡単に得られる反面、インターネットを通しての詐欺被害、個人情報の流出、掲示板や SNS 等での炎上など、様々な問題や事件が日々起こっています。また、様々な環境の変化により、子どもたちのインターネット利用時間が増えています。便利な裏に危険が隠れていることを理解し、インターネットを上手く使い、こころ・からだ・いのちを守りましょう。